

# 丹生神社 (榛原雨師)



▲美しい朱塗りの本殿

▼「菟田川之朝原伝承地」の碑が立つ  
神社入口



神社入口に昭和15年に建てられた「菟田川之朝原伝承地」の石碑があります。  
『古事記』や『日本書紀』のなかに、即位する前の神武天皇の出来事が書かれており、宇陀もその舞台のひとつとなっています。  
ある日、カムヤマトイワレヒコノミコト（のちの神武天皇）は、大和での戦いに勝てるようにと祈つて眠ると、神のお告げがありました。そのお告げの通りに香久山の土で土器を作り「丹生川上」で天神地祇（神様）を祀ったところ、「菟田川之朝原」で敵軍が呪力で動けなくなったというのです。また、「丹生川上」で占ったところ、勝算ありとの結果がでました。

この説話にある「菟田川之朝原」とは、丹生神社周辺の地域と考えられています。  
丹生神社は、平安時代の書物『延喜式』にも記されている歴史ある神社で、春日造の本殿には、水や雨を司る高麗神が祀られています。止雨や祈雨の神社としても篤い信仰を集めています。  
神社の背後には「岳山」とよばれる山があります。岳山はこのあたりを代表する山で、干ばつの時には、山頂で雨乞い神事も行われました。また、神社の近くには、「龍王池」ともよばれた小池があります。龍王と名のつくところからも、ここにも龍神信仰の一端を見ることが出来ます。

今日の  
Pick Up

小学生

## 議会見学プログラム

1月25日から2月9日までの間、市内の全小学校6校の児童が、宇陀市役所を訪れ、議会の模擬体験をしました。

市長や議員の話のあと、市役所や議会の役割について学びました。そして、市長・議長・議員役に分かれ、所定の席に着き、本番さながらの小学校議会を行いました。

議題は「学校の制服を私服にすること」と「学校の制服を選択制にすること」でした。児童は賛否それぞれの意見を述べ、採決まで行いました。

体験後の児童からは、「議場では緊張してうまく発言できませんでした。議員の方は色々発言されるのがすごいなと思いました。」や「議場では市民のために話し合っているのがよく分かりました。」などの意見がありました。

未来の宇陀市議会で、この中から活躍してくれる人が出てくれることを期待しています。

